

## 第3号議案

# 都立日比谷公園の 再生整備計画について

(報告)

# 日比谷公園再生整備計画の検討について 1/4

## 基本的な考え方

時代の変遷を経て変化した日比谷公園の有り様を見つめ直し、時代のニーズにこたえ、この公園が持つ特性に磨きをかけ、**新たな魅力（価値）を創造**していく。

### 日比谷公園の使い方のイメージ

#### 利用・連携

まちと共に新たな魅力や賑わいを創出し、子供から大人まで多様な利用者が楽しめる

×

#### 文化・歴史

公園がこれまで紡いできた文化・歴史を再発見、再認識してもらう

×

#### 緑・景観

都心の緑の核であり、心地よく過ごせる上質な緑の空間を実感できる

## 取組内容の検討

### 使い方のイメージを実現していくための具体的な取組を3つの視点で整理

のこす

長い時間が連綿と紡いできた中央公園の文化・歴史や存在を次世代に確実に継承していく

かえる

公園が持つポテンシャルを最大限発揮できるよう、公園の設えや使い方などを大胆に変えていく

つくる

時代の変化に伴い多様化するニーズに応えるとともに、性格の異なるまちに囲まれた立地特性を活かして、新たな公園像を創造していく

### S字園路で区分された区域ごとに取組を整理（2/4 参照）

## 日比谷公園再生整備計画の検討について 2 / 4



### 区域①

- ・日比谷公園最大のオープンスペースである日比谷公会堂から小音楽堂を結ぶ空間など、憩いや賑わいの中心の場となっている
- ・雲形池など歴史・文化的資源が残されている

### 区域②

- ・日比谷見附の石垣や、江戸城の遺構を活用した心字池など、歴史・文化的資源が数多く残され、江戸からの歴史を伝えている
- ・第一花壇は近代洋風公園に象徴されるランドスケープとなっている

### 区域③

- ・テニスコートや健康広場、草地広場などが立地し運動や健康づくり等多目的な活動の場となっている
- ・皇居周辺の緑地とのネットワークの結節点となっている

### 区域④

- ・長い歴史を通じて様々なコンサートや催事が行われている大音楽堂や日比谷公会堂などが立地し、文化発信の場となっている

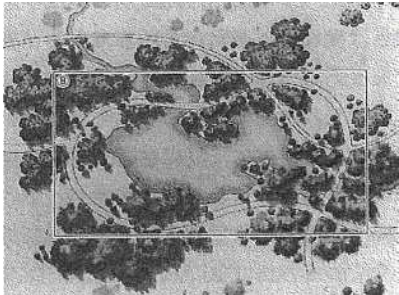
# 日比谷公園再生整備計画の検討について 3/4

## 主な取組案（3つの視点で整理）

### ～ のこす ～

- 雲形池・日比谷見附跡・心字池・第一花壇など歴史・文化的な空間を保全・修復等し、その価値を次世代に継承していく《区域①、②》
- 歴史的建造物である、日比谷公会堂を改修・保全する《区域④》

<雲形池の参考となった設計図>



### ～ かえる ～

- 日比谷公会堂を中心としたビスタ景観の魅力を高めるため、小音楽堂までをフラットな広場にかえていく《区域①》
- 周辺のまちの状況を踏まえて、歩道などから入りやすくしたり、視認性を高めていく《全域》

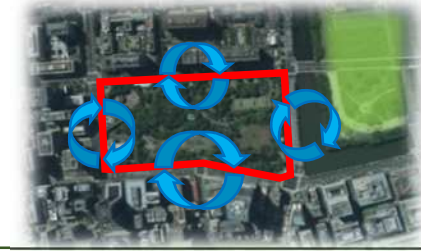
<ビスタ景観のイメージ>



### ～ つくる ～

- 運動・体験・交流などを通じて、心と体の健康の維持、促進に資する機能を高めるため、開放的な空間を創出していく《区域③》
- 公園と皇居外苑やまちとのつながりをもたせ、周辺の地域との回遊性を高めていく《全域》

<皇居やまちとの回遊性>



## 計画策定にあたっての主な留意点

- 様々な公園施設や場所が有するポテンシャルや利用状況を踏まえ、求める機能やそれに応じたハード・ソフトの取組を複合的に検討する
- どのような目的を持って来園してもらうのか、園内や公園を含めた周辺地域をどのように回遊してもらうのかを検討する
- 各区域のレベルアップを図るだけでなく、園内の効用を最大化するために、区域と区域の関係性を意識する
- 公園の外からの見え方や、周辺地域のまちの性格を踏まえたまちへの開き方を検討する
- 公園が持続的に発展していくために、利用者や周辺地域などのステークホルダーとの関係性を意識する
- 公園の質を高めるために、民間資金や民間ノウハウの活用についても検討する

留意点を踏まえて詳細な検討を進め、再生整備計画を策定

新たな魅力(価値)の創造 「つながる、はじまる、ひろがる」

日比谷公園再生整備計画の策定スケジュール（予定）

令和元年10月 8日 諮問

令和2年 3月 4日 報告

---

令和2年 6月30日 報告

令和2年11月 中間のまとめ  
(パブコメ)

令和3年 3月 答申